

2021年7月21日  
フジテコム株式会社

水道 ICT 情報連絡会 第 2 回情報連絡会  
地理情報統合プラットフォーム「Cappa-View」  
による課題解決プレゼンを実施

フジテコム株式会社は、水道 ICT 情報連絡会の新技術募集に採択され、2021年6月18日開催の第2回情報連絡会で地理情報統合プラットフォーム「Cappa-view」を活用した維持管理や危機管理の課題解決についてプレゼンしました。

水道 ICT 情報連絡会<sup>※1</sup>は、水道事業への ICT 活用を推進するため、東京都水道局、横浜市水道局及び大阪市水道局により設立され、現在では16事業体で運営されています。情報連絡会では各水道事業体が抱えている課題を ICT 技術で解決することを目的とし、参画事業体からの課題に対し広く民間企業からの提案を募集、今回第2回目の技術提案<sup>※2</sup>が行われました。弊社では下記課題に対して地理情報統合プラットフォーム「Cappa-View」導入によるソリューションを提案しました。

- ・現場点検情報の一元化（東京都水道局）
- ・地下埋設の事故回避システム（横浜市水道局）
- ・維持管理業務の高度化（福岡市水道局）
- ・危機事象発生時の調査作業及び報告書作成（堺市上下水道局）

地理情報統合プラットフォーム「Cappa-View」は、タブレット運用前提に開発されたブラウザベースのクラウドシステムです。これまでマッピング運用していた管路、図面データと漏水、流量、水圧などの計測データとの融合が可能で、写真や点検記録といった維持管理情報も簡単に登録・共有できることから施設維持管理の効率化に大きく貢献します。



マッピング管路データを取込み Google ストリートビューに反映することが可能

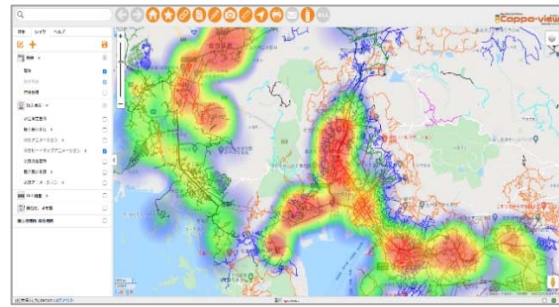


独自のデータ通信プロトコルを採用、タブレット運用でもストレスなく利用可能

## 報道資料



被災範囲や被害状況のステータスをマップ上で簡単に登録・共有できます



水圧測定結果を管路データと融合し可視化分析することも可能  
(写真は 350 か所多点水圧測定結果のヒートマップ分析)

※1：水道 ICT 情報連絡会

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/waterworks-ict/>

※2：「第 2 回情報連絡会」の開催について

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000535900.html>

### <フジテコム株式会社について>

フジテコムは、1958 年 11 月の創業以来 60 年以上、水道、ガス、電力、通信等のインフラ維持管理の製品開発・製造・販売、調査事業を国内外で行ってまいりました。水道分野では音聴式、相関式、ガス検知式、大口径用管内挿入式など様々な用途の漏水探知機器に加え、埋設管探査機器、水圧・流量測定機器など豊富な製品ラインナップを持ち、国内 8 拠点、海外 42 代理店を通して世界中の水道事業者、調査会社でご採用いただいております。国内の漏水調査事業では 160 以上の自治体において最新の漏水探知機器を活用した効率的な調査工法を提供しています。近年では IoT 技術を活用した漏水監視・可視化に注力し、漏水データや水圧、流量、管路情報などを統合可能なクラウド型地理情報統合プラットフォーム「Cappa-View (カッパビュー)」の提供を開始、アナログとデジタルの融合による課題解決と新しい価値の提供を進めています。

### <本件に関するお問い合わせ先>

フジテコム株式会社 営業本部

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町二丁目 20 番地

TEL 03-3862-3196 / FAX 03-3866-1979

メールアドレス：[e-honbu@fujitecom.co.jp](mailto:e-honbu@fujitecom.co.jp)

HP：<https://www.fujitecom.co.jp/>